

2022.6.2 (木)
第38回例会
(通算3665回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度
RI会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイRC)

| | |
|----------|-----------------------------------|
| 月間テーマ | ロータリー親睦活動月間 |
| 本日のプログラム | 「クラブアッセンブリー」(担当:次年度理事会) |
| 次週例会 | 「嵯峨記念育英会奨学生 新入生報告」(担当:嵯峨記念育英会委員会) |

- ロータリーソング:君が代・奉仕の理想
- ソングリーダー:吉田 英一君
- 会員数 102名
- ビジター なし
- ゲスト なし

会長の時間 杉村 莊平会長



皆さん、こんばんは。本日も多数のご出席をいただきましてありがとうございます。まずは、先週の夜例会のお礼を兼ねま

して、釧路クラブが誇る各方面のプロフェッショナルな人たちとそうでもない“なんちゃって”の人たちの多大なる応援のおかげで大変楽しい素晴らしい例会ができたと思っております。改めまして親睦委員会の皆さんにはお礼を申し上げます。明後日には、また野遊会がありますので、引き続きお世話になりますがどうぞよろしくお願いいたします。

いよいよ6月になりまして、気のせいかわたしなく今年度組は、少し表情が柔らかくなって、次年度組は、何となく表情が険しくなってきたかなでございませうが、本日はいよいよ『クラブアッセンブリー』です。特に僕が思っていることで、今年をあえて夜にクラブアッセンブリーをやらせていただきました。この夜にクラブアッセンブリーをやるのが、釧路クラブが誇る・釧路クラブが持っている規律と寛容の精神を本当に表しているのがアッセンブリーだと思っておりますので、本日は特に若いメンバーには、この釧路クラブが持つ歴史と伝統を実感していただければと思ってお

ります。ぜひこの機会に勉強していただき今後の糧にしてもらえればと思っております。

今日のクラブアッセンブリーですが、釧路クラブは年に4回の協議会を開催しております。1つ目は今日。次に『ガバナー公式訪問』の時にまいります。その次に1月、『上期を振り返って』をやりまして、最後は6月末に『1年を振り返って』というクラブ協議会を開かせていただいております。

今日は、その大事な第1回目のアッセンブリー、クラブ協議会でございますので、本日このアッセンブリーで、手元にあるこの会長方針や予算・活動方針などをしっかりと議論して共有をしていくことによって、滝越年度が勢いよく、素晴らしい1年を滑り出すことができることと、また1年を通して安定した活動ができる糧になることが今日1日のしっかりとした議論だと思っておりますので、本日は皆さまの友情溢れる活発な議論をお願いいたしまして、本日の会長挨拶とさせていただきます。

本日はよろしくお願いいたします。

■本日のプログラム■ クラブアッセンブリー

中島 徳政次年度幹事

次年度副会長の清水が遅れていて、まだ会場に入っていないのでアッセンブリーを次年度の三役で始めたいと思います。

それでは、まず会長から。



滝越 康雄会長エレクト

こんばんは。ご苦勞様です。R I 第2500 地区釧路ロータリークラブ 2022-2023 年度対応の『クラブアッセンブリー』を開催いた



します。いま幹事からありましたが、このアッセンブリーの司会を副会長と分け合っと思ひまして、後ほどバトンタッチしますので当分、私に対応をさせていただきます。よろしくお願ひします。

次年度の三役と副幹事を紹介申し上げます。

会長は私、滝越です。よろしくお願ひいたします。続きまして、副会長・清水輝彦君。幹事・中島徳政君。副幹事・篠原実君。同じく副幹事・濱口憲太君、以上です。この5名でしっかり体制を維持して行きますので、皆さんのご協力をよろしくお願ひします。(拍手)

続きまして、式次第の会長方針の説明に行きたいと思ひます。このままで説明をさせていただきます。冊子の2ページ、3ページに私の方針が載っていますので読み上げます。

釧路ロータリークラブは、1936年に設立されました。当時の時代背景は中国大陸の「盧溝橋事件」、国内の「二・二六事件」であります。ロータリークラブの1905年創設時代の背景は、「ロシア革命」と「日露戦争勃発」です。市民社会でのロータリークラブの活動は、国際情勢とは真逆に戦争とは無関係の別天地のアメリカで誕生したと思ひます。

また、2020年以來の新型コロナ感染症はまさに国難と言えます。私たちにはこの感染症を乗り越える力があります。まさに数年間の過去を乗り越え、少しでも前向きに平和な日常生活に戻す転機の時期にあります。

今年度は、釧路ロータリークラブにおいて、国際情勢や感染症を乗り越えたところにある活動的なロータ

リーを取り戻すことを目指したいと考え、今年度のクラブスローガンを『創り出そう身近な奉仕を 友情・愛情そして熱意で』と。

続きまして、われわれの基本にある「超私の奉仕」を胸に日々の穏やかで充実したロータリーを実現するために会員皆さまのクラブに対する友情・愛情をさらに高め、熱意を持って活動をしてまいりましょう。そして釧路ロータリークラブの歴史と伝統を積み重ねて行きましょう。



続きまして、2022-2023年度国際ロータリー・ジュニア E. ジョーンズ会長は、テーマに『イマジンロータリー』「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするため」を掲げ、人々の世話をし、奉仕をする、という誰かの人生だけでなく自分の人生も豊かになる奉仕プロジェクトへの積極的な参加を会員に呼びかけています。

国際ロータリー第2500地区久木佐知子ガバナーは「ともに紡ごう！ロータリーの未来へ」という地区スローガンを掲げ、大きな夢を紡ぐために会員に呼びかけております。

国際ロータリークラブ会長テーマと地区スローガンに沿う形で次なるクラブ活動目標を掲げたいと思ひます。

クラブ活動目標

1. 例会プログラムの充実
2. 例会プログラムとして釧路市の地政学研究
3. 会員増強と会員の連帯感の醸成
4. ウイズコロナ時代に向けての奉仕の検討をする
5. ロータリー財団米山記念奨学会への理解と寄付推進
6. インターアクトクラブ、ローターアクトクラブへの協力
7. 台北中央ロータリークラブとの関係維持
8. My Rotary への登録推進
9. 地区が進める新クラブ（衛星クラブ）の調査・研究

以上でございます。

滝越 康雄会長エレクト

続きまして、幹事より「クラブ概況及び会務方針」についてご説明申し上げます。

クラブ概況及び会務方針説明

中島 徳政次年度幹事

幹事をさせていただきます中島と申します。よろし

くお願いいたします。説明は着座にて行わせていただきたいと思ひます。クラブ概況及び会務方針です。クラブの定款細則に基



づき、会長方針に従い、各委員会の連絡を密にして会員各位のご協力とご指導をいただきながらクラブ運営が円滑に進行できるように努力をしてまいりたいと思ひます。

ただ今の正会員としては100名で作らせていただいております。現在支社長様方の転勤等によりまして、先週の日山支社長がいらっしゃらなくなり事実上は99名ですが、J Rの日山支社長と東京海上の新しい方がご入会をされて101名になる予定ですが、この時点100名で考えさせていただいております。

会員の平均年齢は38.6歳、最年長が93歳・最年少が38歳です。年齢の分布はその下を見ていただければと思ひます。全員、昭和生まれです。

クラブの在籍年数の分布も、1年目・2年目という形になっておりまして、平均が12.4年となっております。

クラブの財政につきましては、全て予算に基づいて運営をさせていただきます。クラブの細則に従い会費は年額150,000円とし、上期・下期でそれぞれ75,000円ずつ納入をいただきたいと思ひます。新入会員の入会登録料は30,000円。

ニコニコの目標達成額ですが、いままで800,000円が2～3年続いておりましたけれども、現実として600,000円行くか行かないかがいまの実情になっておりますので、確実に600,000円を超えてという形で目標額設定をさせていただきたいと思ひます。ニコニコにつきましては、後ほど紹介いたしますけれども今年度の収入では、2年前の舟木年度のニコニコが収入になりまして、私たち次年度が集めるニコニコに関しましては、次々年度の収入に入る形になっております。

理事会は、会長エレクト、直前会長を含めて11名で構成しております。委員会活動につきましては、別途に記載をさせていただきたいと思ひしております。

7番目、クラブ協議会です。第1回目は本日6月2日の『クラブアッセンブリー』です。第2回目が7月14日『ガバナー公式訪問』になっております。『クラブ協議会』と『ガバナー公式訪問』を受けたいと思ひます。第3回目が1月12日『上期活動報告と下期活動計画について』。第4回目が6月22日『年間活動の総括』をさせていただきたいと思ひます。総会は12月1日に『年次総会』を、『クラブフォーラム』

と『情報集会』は適時開催させていただきたいと思ひます。また、適時開催されます『会長・幹事会』に参加をして連絡を密にとってまいりたいと思ひしております。

クラブに関する資料の作成は例年どおり作成させていただきます。

例会に関しましては、毎週木曜日12時30分からということで、いままでどおりビジターフィーも昼例会で2,000円・夜例会は5,000円で、いままでどおりです。例会は禁煙。『クリスマス家族会』は12月8日木曜日とさせていただきたいと思ひます。『新年交礼会』は1月5日。最終例会『キャンドルパーティー』は6月19日です。『新入会員歓迎会』上期・下期1回ずつ開催予定です。

その他としまして、例会のプログラムの充実を図りたいということ。それから『創立86周年』になりますので、歴史の理解を深める例会を行いたい。それから会員増強と退会防止に努めたいと思ひしております。本年度クラブ研修リーダーをクラブ研修委員会とは別にお願ひさせていただいております。その活動も含めてセミナーを開催したり、ロータリー活動への理解を深めていただきたいと思ひしております。

それから本年度、滝越会長エレクトが思ひしております地元経済の理解を深める、現況を見てわが商売にも役立つようなことを例会の中で実施して、もしこれがコロナ禍の中で新しい奉仕につなげることができればということで、その考察をして行きたいということでございます。

インターアクトとローターアクト、嵯峨記念育英会に関しては例年どおり。

ロータリー財団米山記念奨学会に関しても例年どおりです。

また、国内他のクラブとの友好関係も同じです。それから『地区大会』に参加を促すということで、例年どおりの活動方針となっております。

委員会名簿を次に付けております。現在のものご理解をいただければと思ひしております。

各委員会の発表についてはクラブ活動計画書をご一読ください。

清水 輝彦次年度副会長

ありがとうございました。申し訳ございません。副会長予定者の清水です。以後の進行を私がやらさせていただきます。

それでは、ここから質疑応答に移りたいと思ひますが、ご意見のある方は挙手をしてご発言いただければと思ひます。

いかがでしょうか。

質問：吉田 秀俊君

何もないようなので、私から1つ質問をさせていただきます。文献費の中で、第7分区の会員名簿を100冊購入予定していますが、現時点で100名の会員がおりますので、会員拡大の意味で純増5名を目標にしておりますし、その間の出入りもあるかと思っておりますので、少し余裕を持って発注をしておいた方が良いのではないかと考えているのですが、いかがなものでしょうか。

答弁 滝越 康雄会長エレクト

最もなご意見ですので、対応したいと思います。

質問 杉村 莊平会長

僕の時も、会長方針の所で国内他クラブとの関係構築を入れていましたが、このコロナで具体的なことができずに終わっておりまして、大変申し訳なかったです。滝越会長エレクトもこれを入れていますが、何か具体的なお考えなどがあればお聞きできればと思います。

答弁 滝越 康雄会長エレクト



国際関係、ことに台湾、その他があったら出向きたいと思っておりますけれども、コロナの情勢にかこつけるのではなく、私の考

えは正直に言ひまして、国際奉仕も分かりますけれども、それ以前にこの釧路という地盤がムード以前から落ち込んで、国際奉仕よりも地元でテコ入れするような意味の奉仕活動、奉仕という意味においては経済も含まれますけれども、まず地元を支えるような奉仕の向きにしたいと思ひました。

国際奉仕、台湾との関係がこれから進行していく中で、台湾へ意向が向いている会員もいらっしゃいますので、それは考慮して行きたいと思ひます。特段、水のために東南アジアへ行くようなことはいまのところ考えておりません。国際奉仕の部分よりも地元志向の奉仕活動を何か考えたいと思ひております。

質問 杉村 莊平会長

ありがとうございます。ちょっと伝わらなかったかもしれません、国内他クラブとの連携で何か考えることはあるのでしょうかということ。

答弁 滝越 康雄会長エレクト

国内他クラブ、どのクラブと密なのか文献を見てもなかなか現れて来ないので、以前、舟木年度もそうで

したけれども全く新しい対応で実現するのも考えの一端で行いたいと思ひます。海外から見たら遙かに労力が少ないので、ここには書いていませんけれども考えて行きたいです。活動目標の項目が多いので申し訳ありませんけれども、過去の歴代会長の意向で未完成の部分もあろうかと思うので、人脈もたどりながら実現できればと思ひます。以上です。

質問 木村 豊年君

昨年のクリスマス例会について少し。昨年ということではなく今年ということになりますけれども、少し反省をするところがあったのではないかと考えております。

それは、普段お世話になっている家族の方々を楽しませようという趣旨であったということです。その中で、家族の方々が今回参加したその会費5,000円を返して、結局くじ引きに該当しなかったことで大変ガッカリしていたということがありますので、そのようなことがないように。ある会員の方々はいただいて、家族の方々がいただけなかったということがありましたので、みんなが楽しく公平に、せっかくお世話になった家族を招待したわけですから、家族の方々にも何かプレゼントをする。お持ち帰りいただく、だからお金は返さないということで、今年に行っていただきたいと思ひます。趣旨、分かりましたでしょうか。

答弁 滝越 康雄会長エレクト

分かりました。ご家族の方の接点が数少ないものですから、ことに『年末家族会』は、行きやすさ・楽しさをお子さん方からイメージが湧くような、親近感が湧くような企画を親睦委員会が主になりますけれども対応して行きたいと思ひます。大人の会が基本ですけれども、数少ないお子さん方、メンバーも声をかけながらお呼び立てしている背景もありますので、そのところに重点をおいて実施したいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

質問 木村 豊年君

分かりました。よろしくどうぞ。

清水 輝彦次年度副会長

貴重な意見ありがとうございました。他にいかがでしょうか。他に何かご意見や確認事項その他、おありではないでしょうか。

ないようですので、それでは、もうそろそろお時間も迫ってまいりますので、クラブアッセンブリーはこれにて閉会したいと思います。

長時間お付き合いいただき、また司会の不手際にお詫びを申し上げます。どうもありがとうございました。それでは、司会を現三役にお返ししたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

浅川 正紳副会長

皆さま、お疲れ様でございます。プログラムの方は以上で終わらせていただきます。

それでは、ここで釧路ロータリー嵯峨記念育英会石田理事長より本年度のご報告がございまして、石田理事長、よろしくお願いいたします。

釧路ロータリークラブ嵯峨記念育英会

石田 博司理事長

嵯峨育英会よりご報告を申し上げます。昨年、吉田前理事長よりバトンタッチをいたしまして、理事長をさせていただいております。その前から評議委員でありましたので、嵯峨育英会について幾らかは知識があって、それを元感じていたことが、いま1カ月10,000円という給付金では少なくはないだろうか、と提案を申し上げましたら、それは20,000円でもよろしいでしょうか。さらには、基金も崩していったらよろしいでしょうか、と言ったらそれも良いでしょうかと了解をいただきました。その点は、昨年、皆さまの前でもお話を申し上げているところであります。

それで、昨年は『情報集会』で嵯峨育英会について皆さまにお話し合いをいただきました。その報告をいただきまして、とても大変ありがたい熱心な討議をいただいたことに感謝いたします。

昨年は、「今年の春からの新給付は1年ちょっと休みます」と申し上げましたけれども、その休むという理由は、一番欲しがっている学生・生徒にどのようにたどり着くかということ、その選考の方式が非常に不安だったからです。しかも、10,000円が20,000円になるわけですから応募も多いだろうとも思いましたので休もうと思いましたが、これは休んでもダメだと。とにかく動いてみてどのような反応でも体で感じなければいけないということで、これは事後承諾と言いますか、いま報告申し上げますけれども今年度は20,000円で学校にご案内を申し上げます。

そうしましたら、20,000円という額がヒットしたのか分かりませんが9名の生徒からの応募がありました。学校の推薦と本人のレポートを添えて9名の応募がありまして、慎重に選考いたしましたけれども、おひとりだけ外れていただき8名の方に給付をいたします。ですから8名×20,000円で160,000円。さらに、皆さまの情報集会の中でも「釧路公立大学の生徒にも給付をしたらどうだ」という意見もありまし



た。それも最もだと思いましたので、西村理事の知り合いという公立大学の事務局長を交えて、公立大学の生徒にも給付が行くようなことも考えております。ですが、このペースで給付をしていきますと、育英基金が10年程でなくなります。これについて、私の独断ではありませんけれども、意見を言わせていただきます。

私は芸能関係の財団も理事長を仰せつかっていて、同じことを考えるのですが、いまの経済状況・システムがいつまでも続くとは考えられない。そうすると気が付いたらお金がタダの紙くずになってしまうこともあるのではないかと。それより、いま必要としている方に届けたいという思いがあるのです。だから基金芸能太鼓の財団でも申し上げるのですけれども、「財団の基金がなくなったら解散するように」と道から言われていますので、そのことを踏まえて、必要な方に届くようにしたい。それは嵯峨の場合でもそうです。

ですが、これはもうワンマンでできることではないので、今後、いちいち申し上げますから皆さまからの意見も上がって来ると嬉しいのです。そして、熱心に活動をしていきます。

これは、私の人生観ですけれども、金品を差し上げる時とは、差し上げる方の思いが伝わるものだと思います。直接手渡しでなくても。お下げ渡しみたいな、上から目線で出た金品は受け取った者がなにか嫌な気がするし、心から思いが乗ったものというものは生き生きとしてその人を喜ばせるという。これは僕の人生観なものですから、嵯峨育英会も将来の日本を背負う子たちのためにいま生活にいささかの困難がある方に届くように誠意を持って活動をしていきたいと思っております。ですが、金額も上げましたし、底が突いてきます。次の段階として、お願いですけれど。嵯峨育英会と嵯峨家は釧路クラブの誇りです。嵯峨久さんと晃さんの親子が釧路ロータリークラブのチャーターメンバーであります。そのお二方が、昭和36年に1,000万円余りの基金でスタートしました。昭和36年の1,000万円は現在の貨幣価値で1億円程になります。これはすごいことだと思います。その時はロータリークラブを関係なしに嵯峨家としてやっていたことですから、その思いに触れるときに胸が熱くなると思いますか、胸が震えます。その嵯峨さんの思いを何とか持続したい。ですから形だけ10,000円を細々とするのではなく、スパンと喜ぶ金額を差し上げたいのが私の思いでありました。基金が尽きかけた時にはおそらく交代の時期だと思いますけれども、釧路クラブの皆さんからこの誇りある嵯峨育英会を釧路クラブとして持続させて行こうではないかという気運が盛り上がった時に、新たな事業として嵯峨育英会が再スタートすることもあったら良いと思います。とりあえず、今年は8名の方に給付をさせていただきます。

この給付を踏まえて、来年からは学校1校に1人という方法はどうかなどをみんなで協議をしながら行きたいと思います。いずれにしても、片親家庭といえますか、向学心・向上心はあるけれども不自由に行っている生徒がいることは事実です。そこに何とか光を当てたいのが理事長としての考え。これは理事・評議員もほぼ同じ意見でありますので活動をして行きます。どうぞ、ご理解をいただきますようお願いいたします。ありがとうございます。

本日のニコニコ献金

- 杉村 莊平君 いよいよ、やっとクラブアッセンブリーです。宜しくお願い致します。
- 浅川 正紳君 残り1ヶ月です。つまらないように司会進行を目指します。
- 市橋 夢佳丞君 今年度も残り1ヶ月となりました。気を引き締めて頑張ります。宜しくお願い致します。
- 滝越 康雄君 いよいよです。未だにこんな恐ろしい役職を受けて壇上で話す自分自身のイメージができません。
- 中島 政徳君 先週の事は忘れて、本日のアッセンブリー頑張ります。宜しくお願い致します。

今年度累計 558,000 円